

# 学校評価アンケート集計結果の概要

## 1 児童のアンケート

項目1 わたしは学校が楽しい

項目2 わたしは友だちと仲良くしている

項目1・2ともに「そう思う」が95%をこえており、概ね、子どもたちは学校生活を楽しくしていると思われる。

項目3 わたしは毎日の勉強がよくわかる

「そう思う」が90%近くあり、概ね、子どもたちは学習内容が理解できていると思われる。

項目4 わたしは掃除をいっしょうけんめいしている

「そう思う」が95%以上で、熱心に掃除に励む子どもの姿が浮かび上がる。

項目5 わたしは給食の時間が楽しみだ

「そう思う」が90%近くあるが、学年が上がるにつれ減ってきているのが気がかりである。

項目6 わたしはおうちの人や学校であいさつができる

「そう思う」が90%近くあり、概ね、満足できる結果であったが、5年生が低いのが気になる。

項目7 わたしは家の人に学校でのことをよく話す

「そう思う」が80%を超えており、以前に比べ、かなり改善されてきた。しかし、まだまだ満足できるような状況ではない。今後も、保護者の方と連携をとりながら割合を高めなければならない。

項目8 わたしの学校はきれいで使いやすい

項目9 わたしは命の大切さ社会のきまりについて教えてもらっている

項目8・9ともに、「そう思う」が90%近くである。立腰教育の役割を再確認し、指導の徹底を図りたい。

## まとめ

「学校が楽しい」と言える児童を育てることが大切だと考えます。学校が楽しいということは、

- 1 勉強がよくわかる
- 2 友だちがいる
- 3 自分のやりたいことができる

ということではないでしょうか。社会のルールを教えながら、取り組みを進めてまいります。

## 2 保護者のアンケート（回収率70.7%）

- 項目1 学校は教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えているか  
「そう思う」が74%以上あり、学校の取組をほぼ理解していただいているものと思われる。
- 項目2 学校は子どもにわかりやすい授業を工夫している  
「そう思う」が84%以上あり、授業に関して信頼されているようだ。
- 項目3 学校は子どもの安全確保・健康管理のための取組を十分に行っている  
97%以上の方から「そう思う」という回答をよせていただいた。今後も、努力していかなければならない項目である。
- 項目4 学校はいじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる  
80%近くの方から「そう思う」という回答をいただいた。今後も、指導の充実を図りたい。
- 項目5 子ども一人ひとりが大切にされ認められる小学校になっている。  
「そう思う」が95%近くである。今後も、指導の充実を図りたい。
- 項目6 学校は子どもに命を大切にす心や社会のルールを守る態度を教育している  
「そう思う」が85%近くある。かつてよりかなり改善されたが、保護者の方と連携しながら、取組の充実を図りたい。
- 項目7 家庭・地域は小学校に対してそれぞれの役割を果たし連携・協力しているか  
「そう思う」が91%以上あった。以前より数値が上がっており、今後も努力したい。
- 項目8 学校施設は教育的配慮がなされ、美しく使いやすい  
「そう思う」が75%近くしかなく、考えなければならない。
- 項目9 子どもは毎日楽しそうに小学校に通っている  
「そう思う」が100%あり、うれしいかぎりである。
- 項目10 子どもは学習内容がわかり基礎的な学力が身についている  
「そう思う」が83%近くと低くなっている。子どもとの感覚と隔たりがあるようだが、真摯に受け止めたい。
- 項目11 子どもは小学校での出来事をよく話す  
「そう思う」が67%しかなく、本校の大きな課題となっている。
- 項目12 子どもはあいさつができてい  
「そう思う」が80%近くあるが、子どもとの感覚と隔たりがあるようで、まだまだ改善していかなければならない。
- 項目13 子どもは給食の時間を楽しみにしている  
「そう思う」が85%近くある。  
食育の観点から、栄養バランスがとれた給食をしっかりと食べさせてやりたい。

### まとめ

どの項目も、概ね学校の教育活動に対し、ご理解をいただいているものと感謝いたしております。今後とも、

- 1 よくわかる授業の創造
- 2 一人ひとりを大切にす学校・学級経営
- 3 すずんであいさつができる児童

に取り組んでまいります。

今後、ご家庭でも、子どもたちが学校での出来事をすずんで話すような雰囲気づくりや、あいさつの励行に取り組んでいただければ幸いです。

### 3 教職員のアンケート

「教育目標」・「教科指導」・「道徳教育」・「人権同和教育」・「特別支援教育」・「生徒指導」・「安全教育」・「保護者地域との連携」・「施設設備」等において、城北小学校の教育の見直しをした。どの項目も概ね満足できる結果であったが、やや課題があるという内容もあった。

#### ◎ 教育目標

「人間尊重の精神を基盤とした、たくましい子ども、心豊かな子ども、未来をきりひらく子どもを育成する。」という、城北小学校の教育目標は、児童に適切であるという結果であった。

#### ◎ 教科指導

基礎・基本をおさえた指導、興味・関心・意欲を引き出させる指導、個に応じた指導等に工夫をしているという結果であった。このことは、児童のアンケートの「わたしは毎日の授業がわかる」という項目の割合が高かったことと関連していると思われる。

#### ◎ 道徳教育

道徳の時間における年間指導計画、心のノートの活用等にやや不十分であるという意見もあった。副読本の活用もふくめ、道徳教育を見直さなければならない。

#### ◎ 特別活動・人権同和教育

「そう思う」が100%となっている。一人ひとりを大切にする指導の充実を今後も推進していきたい。

#### ◎ 特別支援教育・生徒指導

「そう思う」が100%となっている。今後も、研修や校内での支援体制について充実するよう働きかけていきたい。

#### ◎ 安全教育

体制や児童への指導、関係機関との連携は、うまく機能しているとの結果であった。今後も、児童の安全確保は、気をゆるめることのないよう、取り組みを続けなければならない。

#### ◎ 組織管理・学級経営・研修

どの項目も「そう思う」が100%であった。こうしたことに甘えることなく、常に緊張感をもって歩んでいきたい。

#### ◎ 保護者地域との連携

学校への理解、情報発信は概ねできているとの感触を得ていたが、「そう思う」が100%であった。今後も、学校・家庭・地域の三者が連携し、教育にあたりたい。

#### ◎ 施設設備

定期的に施設設備の点検や整備をおこなっているとの結果であったが、このことは児童の事故につながりかねないことであることから、今後も、注意を怠らないようにしたい。

### まとめ

どの項目も「そう思う」が100%というのが多くみられたが、今後も、児童のために、よくわかる授業の工夫・改善に努めなければならない。その際、行政側からの、人的・物的支援はかせないものであることから、十分な配慮をお願いいたします。

# 平成 22 年度 外部評価書

学校名	和歌山市立 城北小 学校
作成日	平成23年3月1日

## 1 教育目標

人間尊重の精神を基盤とした、たくましい子ども、心豊かな子ども、未来をきりひらく子どもを育成する。

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標	1 学校の情報提供 2 地域との連携強化 3 評価委員会の活用	1 立腰教育の推進 2 特別活動の充実 3 道徳の時間の活用	1 習熟度別少人数指導の推進 2 現職教育の充実 3 指導技術の向上
取組の状況に対する意見	様々な情報をいただき、学校との連携はうまくいっていると思っています。学期に一度開かれる評価委員会の場で、意見を交換し、意志の疎通を図ることができました。	立腰教育は、児童の心の発達に大きな影響を与えているように思われます。児童数が激減している現状では、異年齢との関わりを考えなければなりません。心の教育に重きを置くことは、とても大切なことです。	学校が楽しいということの一つに、勉強がよくわかるということがあると思います。落ち着いた学校生活を過ごすという観点からも、学習について研鑽を深めることは重要だと思います。
(評価結果)に対する意見	子ども祭りに、地域からも夜店を出したり、餅つき大会に参加したりする等、学校と外部の壁は低くなっています。評価委員会の場では、課題のある児童や学校の課題を具体的に話し合うことができ、理解を深めることができました。	立腰教育の精神が生かされ、あいさつもきちんとできるし、清掃もていねいにされています。休憩時間には、学年が入り乱れて運動場で遊んでおり、なかのよい感じをうけました。ただし、やはり人数が少ないので、すこしさみしい気がしました。	国の学力診断テストの結果をうかがっても、算数科の習熟度別少人数指導の成果の大きいことがよくわかります。授業態度もよく、落ち着いて学習に集中しています。先生方も、熱心で、授業や掲示物も工夫されていました。
改善方法に向けての意見	目標は概ね達成できているものと思われしますので、今後もこの方向で取組を進めていただきたい。学校通信を地域の会合の場で配布するの、さらなる情報の提供の方策として考えられると思います。	縦割り活動を年間に定期的に組み入れるよう、工夫してみてもどうでしょうか。表題のゆたかな心とは、具体的にどのような状態となって表れるのか、分析してみる必要があるかもしれません。	算数科の習熟度別少人数指導は、今後の教育の指針となるべきものだと思いますので、さらなる研究を重ねていただきたい。また、教科も算数科だけでなく、例えば、国語科にも増やす方向でお願いします。

## 4 その他のご意見

城北小学校の子どもたちは、落ち着いて学習に参加し、楽しい学校生活を過ごしていると思われれます。その根幹にあるのは、習熟度別少人数指導にあると思われれます。私たちが、次年度に向けての意見で申し上げましたように、習熟度別少人数指導を他の教科に広げ、城北小学校をその研究校にしてもいいのではないのでしょうか。

# 平成 22 年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 城北小 学校
校長氏名	津田 成章
作成日	平成22 年 2 月 22 日

## 1 教育目標

人間尊重の精神を基盤とした、たくましい子ども、心豊かな子ども、未来をきりひらく子どもを育成する。

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	1 学校の情報提供 2 地域との連携強化 3 評価委員会の活用	1 立腰教育の推進 2 特別活動の充実 3 道徳の時間の充実	1 習熟度別少人数指導の推進 2 現職教育の充実 3 指導技術の向上

取組の状況【D】	運動会、子ども祭り、餅つき大会等、学校・保護者・地域の方々が連携を取り合いながら行事をすすめている。 連絡所に学校通信をおき、情報提供に努めている。 評価委員さんから、地域での児童の様子を教えてください活用している。	立腰教育の精神である、「時を守り、場を清め、礼を正す」の具現化に努めている。 縦割り活動を取り入れた遠足や、集会活動を実施している。 全学年に道徳の副教材を購入し、活用できるようにしている。	3年生から6年生まで、算数の習熟度別少人数指導を実施している。また、5時間目の前に、毎日学力タイムを設置している。 一人最低1つの研究授業を提供し、協議の場を設けている。指導案の検討、準備にも全員であたるよう心がけている。
(評価結果【C】)	様々な学校行事に、多くの方々の参加や協力を得ることができ、児童との交流をしていただいた。 評価委員の方々からいただいた、児童の様子を生徒指導に生かすことができた。 学校通信の配布について、範囲を広げてもいいのではないかと。	清掃は熱心で、いつも学校はきれいであった。下駄箱やトイレの履き物も、きちんと整えられていた。あいさつも、概ね満足できる状況であった。 縦割り活動を取り入れてから、高学年が自信をもつようになってきている。 道徳の授業に、系統性が生まれてきている。	国の学力診断テストの結果をみても、非常に高い正答率を示している。落ち着いて学習に集中できる児童が多くみられる。 授業に取り組む際、事前協議に多くの時間をさき、真剣さがうかがわれた。事後の協議に、もう少し意見がほしい。
改善方法【A】	学校通信を回覧板で回したり、地域の会合時に配布したりする等、今後、検討してみてもいいのではないかと。 学校開放月間の行事を増やすよう、検討してみてもいいのではないかと。	縦割り活動を年間に組み入れ、系統だったものとしてもいいのではないかと。 立腰教育の徹底を図るとともに、その効果を広げる工夫をしてもいいのではないかと。	来年度から、教科書の中身が厚くなり、教える内容がかなり増える。指導技術を磨くとともに、児童と向き合う時間をいかに確保するかが大きな課題となる。 また、学力タイムの充実も、考えていかななくてはならないのではないかと。

## 4 その他の課題

算数の習熟度別少人数指導が、大きな成果を上げていることは明白である。今後、さらなる充実・発展を図るとともに、他の教科でも実施し、本校が習熟度別少人数指導の先駆的な働きをしてもいいのではないかと。